

研究テーマ名 | 閉鎖空間において生じる、心理的圧迫感やストレスの緩和に役立つ「環境香」の開発

機関名：株式会社資生堂

プロジェクト概要

【目的】

本研究は、外部環境と切り離されたような生活空間においても、心理的圧迫感やストレスを強く感じず快適に過ごせるための一方策として役立つために、資生堂が開発中の「環境香」効果を実験検証する。「環境香」は、自然の中で誰しもが意識・無意識を問わずに感じる、複雑に変化し続ける自然界の香りを再現する。そのため、外部環境と切り離されたような生活空間でも身体が自然のリズムを匂い感じ取ることで快適性向上が期待できるとした。なお、本研究における“外部環境と切り離されたような生活空間”とは、都市型居住スペースを始め、長時間の移動が必要な列車あるいは旅客、病室、長期に渡る自宅介護などのスペース・場面を広く指す。

将来的には、前述の成果活用を経て、一般人が宇宙旅行をする時代までには閉鎖居住空間においても、薬によらずとも心理的圧迫感やストレスを緩和し心地よい方向へ調和・調律させることができる効果の確立を目標とする。

【内容】

- ・今回の共同研究では、「環境香」の特徴である、複雑に変化し続ける自然界を模した各“香りパーツ”が、心理的・生理的に及ぼす影響を確認する。
- ・測定は、
 - (1)ある気象条件／変化のときの「環境香（の香りパーツ）」がない状態（コントロール）、(2)その条件/変化で規定した「環境香（の香りパーツ）」を嗅いだそれぞれの状態における、
 - －心理的データとして、時系列的な快・不快と鎮静・覚醒の気分状態、日中の作業課題等の行動反応を含むデータ
 - －生理的データとして、内分泌系や自律神経系の反応等のストレス状態の変化を含むデータを取得する。

